

文化ホール談義、他

昨日は、少ない時間でしたがとても楽しく文化ホール談義ができました。

話はいろいろでしたが、論点・視点を整理してみました

整理ポイント

文化ホール開発・事業がどういう経過を辿って来たか

- ・習志野の音楽文化の振興構想から設置されたこと
- ・当時としては自治体の公共施設整備から斬新な開発手法をとったこと
- ・行政の指導で「財団法人」を設置し、資産管理と運営が担われたこと
- ・年4?億円の資産償却と年度毎の運営助成・補助がなされ、平成の中頃、債務負担の償還は完了し、
- ・H16-20にかけての「法人法」の改正に伴い「公益法人」化が指向され

法人法に基づく財務諸表ないし一般的な財務判断から、公益法人格に移行。

- ・市の監査、からも自己資本比率の低下が指摘され
- ・また3・11の震災により天井崩落など大規模修繕が余儀なくされるなど、自主経営が困難になり、
- ・施設修繕もあわせ、「資産」を市に返還(寄付の形で)した。
- ・行政は、返還された資産管理を指定管理事業として、法人に管理運営委託化の措置を図った。
- ・以後、現在に至る
- ・コロナ禍 運営制限

行政の課題

- ・市の資産管理と事業経営となった「事業や運営」について会計課等(千葉大大塚教授)で研究がなされるものの
- ・指定管理事業特有のモニタリングや、評価がなされるが、経営実態にはほど遠い評価、行政の対応にある。
- ・一方、市の「公会計改革」研究サイドから
- ・法人会計と市の一般会計の連結による

・新たな財務諸表が会計課で調整され、
今後の運営指針が示されている。

・そんな中で、施設の老朽化と経営化できない中、野村不動産からサンペデック(現在モリシア)の再開発の提案があった。

・そして、行政は、「都市再開発事業」としてこの課題に対峙している。

↓

・その後の野村との経過は？

野村との話の中で、文化ホールを含めた再開発について、野村はどんな構想を提案して来ているのか？

また、一方行政としても習志野の文化振興施策に貢献して来た文化ホールの歴史的な経過を踏まえ、どんな新たな音楽ホールを提案しようとしているのか？

・多分、当該開発に対しては協働プロジェクトが編成され、対応されると思うが、

・市は、どのような音楽文化の発展哲学、考えなのか、特に文化振興の成果を踏まえた音楽文化ホールをどのように再築していくのか、考えを尋ねたい。

こんな総括的な話がなされ

ここの「・」項目についての分析、質疑がされ、

課題の認識の深化にはなってきたと思う。

そこで、野村の開発構想を踏まえ、これからの音楽ホール議論に発展させ、

ここで大事なものは、前提のない新たなホール計画の提案でない、行政の思いが十分伝わるような今以上の音楽ホールに建設提案することが重要。

もちろん、財務・経営・活用も含め議論を行い、市の立ち位置を明確にすべきです。

当然ながら行政として協力、お願いできる部分をも明確にする。

・事業構想の明確化(野村が主体←行政がコラボ)→先端の音楽

ホールの研究等

・建設手法→PFI化

・資産の管理→野村

・運営の経営化→SPC←市は運営の助成

などなど

↓

??

という感じでしょうか？

当局と十分な質疑を考えてみてください。

追伸

また、文化振興計画については、

お渡しした習志野の社会教育の事業体系(ペラ資料)の視点から、質疑がなされるとよろしいのでは？

パブリックコメントの計画表現、ロジックが
帰納的に経過情報を整理し→情報を演繹的にデータ化→弁証法による将来展望が図られていない。

展望が、一般的で、習志野が目指す文化振興計画の具体性に欠ける→文化ホールについても

社会教育を基盤とする文化振興計画になっていない、業者が体裁よく作成されたように見える。

今後は、施設再生計画の誤った運用視点(社会教育施設の解体等)を修正して

大久保の施設計画についても教育委員会の社会教育推進策がイニシアチブを取って、公民館運営審議会の答申指針に沿って今後、運営・事業展開を前提に、業者 SPC への指導をされたい。←三者協議会よりも上位体制とすべき

さらに公民館の指定管理について、すでに議決した以上は、
公的社会教育事業推進の観点から事業と管理運営をきちんと
区分けし

教育委員会の教育事業(専門主事による事業指導)活動(先の
表)の指導を図る体制をつくる。

施設活用レベルの学習機会提案から、歴史文化、そして現代
的な課題に関する話題や学び直しのリカレントの学習機会、
もしくは、指定管理制度導入を根本から再検討することを提案し
ます。

あくまでも参考意見です。

〇〇さん独自の意見として質疑願います。

お話が突然でしたが、とても充実した話ができたと感じます。

今後も、いろいろな行政情報等、発信くださるようよろしくお願いいたします。

殆どが、私は、自身のブログサイトに於いて公開しております。

以下の資料を参照されたい

[学級講座等事業体系.pdf](#)

教育委員会の社会教育事業への自覚を促したいですね。

[ブログサイト](#)

[「学びの文化」醸成、文化振興計画づくりについて - s-kawano](#)

[「読書・散策、メモ・ノート」\(s-kawano.net\)](#)
